

# 2017 Japan National Team Report "選手"



|       |                        |          |     |
|-------|------------------------|----------|-----|
| 報告者   | クラブ YMFS ジュニアヨットスクール葉山 |          |     |
|       | 学年 9                   | 氏名 後藤 凜子 |     |
| 大会名   | アジア & オセアニア チャンピオンシップ  |          |     |
| 開催地   | オマーン                   |          |     |
| 大会期間  | 9月30日 ~ 10月7日          |          |     |
| セールNo | 3394                   | 最終順位     | 104 |

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  2. なるべく詳細に記入して下さい
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
  1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
  2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

|                |                                                                                                   |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 気温、水温、ウエアについて  | 気温、水温は日本に比べるととてもあつかった。<br>ウエアは現地の気候にとってもあつており、着せなかった。                                             |
| 海面(湖面)の特徴や風の傾向 | 風はとても安定していて、ゆくりと午後になるにつれ、風速が上がっていった。(6~7メートル)それにとともに、風向も、北からだんだん東へ変わるパターンがほとんどだった。<br>また、波は大きかった。 |
| セッティングで注意したこと  | 風のふれが少ない分、小さな強弱がある為、ルールの範囲内で、できるだけパワーをつけ、自分の体重にあつたセッティングにした。また、計測にひかからないように、各パーツの流れ止めは必ず毎回確認した。   |
| セーリングで注意したこと   | ふれが少ない分、ともかくスピード勝負なので、スピードと角度のメリハリを注意した。                                                          |
| 海上で練習したこと      | チームのメンバーと一緒に何回もスピードチェックのため、走りあわせをした。また、ラビットスタート、ダック練習などをした。                                       |

|                          |                                                                                                          |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実際のスベリはどうでしたか？           | 風が強いときは、前の方を走っている人達と変わらない走りかできていた。しかし、風が弱く、波が荒いときは、あまり上手に走れなかった。                                         |
| スタートは、どうでしたか？            | 見通しがないため、周りの船と一緒にゴチャゴチャと前にでたらリコールを2回してしまった。しかし、出遅れることはなかったのも、良かったと思う。                                    |
| コース戦略はどうでしたか？            | ふれに合わせてタックしていると、ブローをつかんだ選手達にめかれてしまうことが多かった。まだまだ大胆なコースを引ける技術が少ないと思った。                                     |
| 自分より上位の選手との違いは？          | 海面の見方、乗り込みの量、丁寧さなどと思う。                                                                                   |
| 国内の練習で役立ったこと             | 走り合わせが役に立ったと思う。他の艇とのスピード、角度、タックなどの差が一番分かりやすいから。                                                          |
| 国内の練習で足りなかったこと           | チームレースの練習が足りなかったと思う。                                                                                     |
| 印象に残った外国選手は？             | マレーシアの選手。レース前に一日一緒に練習してもらった。あまり風は強くなかった。そんな中、一人ズバ抜けて速かった。弱い風の中でも、ブローがきたらちゃんとおこし、シートをちゃんと引き、ともかく全てが丁寧だった。 |
| 行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。 | チームのみんなと行く前よりもっと仲良くなれた。行く前も仲が良かったけれど、オマーンに行くと、更に仲良くなれたと思う。                                               |
| 今後の課題と目標は？               | 今回、初めての海外レースに出て、海外の選手の強さ、速さ、積極性、全てを目のあたりにし、自分の小ささを知りました。もっと大胆に、けれど正確に、スタートも、コース取りも、セーリングも、次の船に活かしていこう。   |
| JODAへの要望                 | 特にないです。大会運営、ありがとうございました。                                                                                 |
| その他                      |                                                                                                          |

ご協力ありがとうございました

JODA海外派遣委員会